

科目ナンバリング		G-LAS10 80005 LB37							
授業科目名 <英訳>		外国語習得論 1 Theories of Foreign Language Learning and Teaching 1				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 中森 誉之	
群	大学院横断教育科目群		分野(分類)		人文社会科学系		使用言語	日本語及び英語	
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	水1		配当学年	大学院生	対象学生	全学向
(人間・環境学研究科の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)									
【授業の概要・目的】									
<p>中級段階以降の外国語学習者が直面する、文章処理上の諸課題について、言語科学理論の知見を援用しながら検討する。教育学的可能性を探りつつ、基本的な知識とともに、幅広い視座と深い見識を身につけることを目標とする。外国語学習者の段階的な能力獲得過程を理論的に解明して、その成果を教授学習支援システム構築にどのように生かしていくのかについて、学校教育臨床研究の立場から多角的に考究する。</p>									
【到達目標】									
<p>1)外国語授業の構成要素を幅広く理解できる  2)外国語文章の理解と表出の際の学習者のつまずきの発見と対策を理論的に考究できる  3)言語技能とは何かについて多角的に理解したうえで段階性に従った効果的かつ効率的な指導と評価を探究できる  4)実際の(あるいは架空の)指導上の問題を研究する際の手続きを考案できる</p>									
【授業計画と内容】									
<p>以下のテーマについて、2週程度を費やして論じていく。</p> <p>1．外国語文章の理解      2．音声及び文字言語の理解      【発表1】  3．外国語文章の表出      4．音声及び文字言語の表出      【発表2】  5．理解と表出の認知メカニズム      【発表3】  6．電子機器と外国語学習      【発表4】  7．統合型の外国語学習指導      【発表5】</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
<p>各テーマについて、講義と発表を交互に展開していく。成績は、授業時に担当する数回の発表、および発表への参加状況に基づく。</p> <p>発表時間は30分、その後15分の質疑応答を行う。発表内容は、テーマに関連する論文や図書を最低でも計10点以上は読み、自らの問題意識を提起する。発表用のハンドアウト（PowerPoint可）を用意し、私には印刷して提出すること。参考文献リストも付けること。</p>									
----- 外国語習得論 1 (2)へ続く -----									

## 外国語習得論 1 (2)

### **[教科書]**

Nakamori, T. 『Integrated Skills Development: Comprehending and Producing Texts in a Foreign Language』  
( ひつじ書房 )

### **[参考書等]**

( 参考書 )  
授業中に紹介する

### **[授業外学修 ( 予習・復習 ) 等]**

文献の熟読。十分な発表準備。

### **[その他 ( オフィスアワー等 ) ]**

私は日本の英語教育の理論的基盤を構築する仕事をしています。この授業で取り上げる諸課題に関しては、現行の学習指導要領の基盤となっており、学校教育臨床として極めて重要であり、現職教員向けの講座でも広く知見を還元しています。英語教育関係の進路を志望する方、英語教育を経験・勘・思い付きではなく最新・最先端の学術的な視点から客観的に見つめ直したい方、塾や家庭教師で英語を教えている方、言語習得論を考究したい方、その他純粋に興味関心がある皆さんの受講を歓迎します。